



キュウリ編

病害虫注意報 2021年10月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

定植前～生育初期の防除

粒剤は一般的に2～3週間効果が持続します。
アブラムシ類・コナジラミ類・ミナキイロアザミウマはウイルス病を媒介します。
ウイルス病は一度発病すると治らないので、害虫の防除を徹底しましょう！

～定植前センチュウ防除～

- 育苗・定植時期の気温がセンチュウの生育適温となり密度が高まる。
- 定植後1か月から急増する。



ネマセンチュウ

センチュウ、ウイルス病は被害が出てしまうと生育中の防除対策はない
→定植前の防除が必要

～代表的なウイルス病～



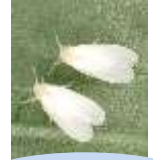
ミナキイロアザミウマ

・黄化えそ病 (MYSV)



アブラムシ類

・キュウリモザイクウイルス (CMV)



コナジラミ類

・黄化病 (BPYV)
・退緑黄化病 (CCYV)

薬剤名	使用量	使用時期	使用回数	アザミウマ類	コナジラミ類	アブラムシ類	その他
ネマキック粒剤	15～20kg	定植前	1回	—	—	—	ネマセンチュウ ○
ベストガード粒剤	育苗期：1g/株 定植時：1～2g/株	育苗期 定植時	1回	○	○	○	—
アルバリン粒剤	1～2g/株	育苗期 定植時	1回	○	○	○	ハモグリバエ類 ○

定植後 おすすめローテーション

対象害虫によって使用倍率が異なる場合があります。
ラベルの確認をしてから使用してください。

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 スルスキー
①	菌核病・つる枯病 灰色かび病	予 ロブラル水和剤	1,000～1,500倍	前日	4回	7日
	コナジラミ類・アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ・カメムシ類	ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍	前日	3回	7日
②	うどんこ病・褐斑病 炭疽病・灰色かび病	予 ベルコート水和剤	2,000～4,000倍	前日	7回	0日
	コナジラミ類・アブラムシ類 ハダニ類・アザミウマ類	モベントフロアブル	2,000倍	前日	3回	20～30日
③	うどんこ病・菌核病 灰色かび病	予 アフェットフロアブル	2,000倍	前日	3回	0日
	コナジラミ類・アザミウマ類 ハモグリバエ・ハダニ類 等	グレース乳剤	2,000倍	前日	2回	100日以上
④	菌核病・灰色かび病	予治 ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000倍	前日	3回	0日
	コナジラミ類・アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	1,000～2,000倍	前日	2回	—

定植3～5日前のおすすめ処方

ベリマークSC

灌注専用剤

使用薬量25ml
散布水量10～20L
(400株あたり 灌注処理)



灌注処理に
プラス!

ファイトオーツ 1,000倍

同時灌注で効果アップ
▶毛細根の充実
▶徒長防止



肥料登録
生第83241号

白酢

灌注時：100～300倍
散布時：300～1,000倍



育苗期散布がお勧め！
発根を促進し根張りが向上

※強酸性のため100倍以下にならないように注意